

ICOM

ご注意と保守について

WIRELESS ACCESS POINT

AP-95M

IEEE802.11ac Wave2規格準拠

安全上のご注意（安全にご使用いただくために、必ずお読みください。）

- ◎ 使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- ◎ 次の「△警告」、「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 本製品について

△ 警告	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
◎ 下記の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因になります。 <ul style="list-style-type: none">● 付属のACアダプター以外は、使用しないでください。● 指定以外の付属品、および別売品は使用しないでください。● DCジャック以外の端子にACアダプターを接続しないでください。● ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。● ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。● 分解、改造は、絶対にしないでください。また、ご自分で修理しないでください。● 通気口をふさがないでください。● 水などでぬれやすい場所（屋外や加湿器のそばなど）に設置しないでください。	◎ ぬれた手で本製品に触れないでください。感電の原因になります。
◎ 電源ケーブルや接続ケーブルは、赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で設置、使用してください。火災、感電の原因になります。	◎ 万一、煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする、水などが入った場合は、使用を中止してください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに、本製品に接続しているACアダプターのプラグとそのほかのケーブル類を取りはずしてください。煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

△ 注意	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが発生が想定される内容」を示しています。
◎ 直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。	◎ 長時間、使用しないときは、安全のためACアダプターを接続しているコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。発熱、発火、故障の原因になることがあります。
◎ 製品の上に乗ったり、落としたり、強い衝撃を与えたり、重いものを載せたりしないでください。けがや故障の原因になることがあります。	◎ 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所には設置しないでください。また、本製品同士やほかの製品と重ねて置かないでください。火災、故障の原因になることがあります。
◎ 結露させないために、温度差の激しい環境へ急に移動させないでください。内部や外部に水滴がつき、変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。	◎ テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。
◎ 自然乾燥させるか、長いあいだ同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。	◎ 近くに雷が発生したときは、ACアダプターを接続しているコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。また、ケーブルの接続や切断、および製品の導入や保守の作業をしないでください。火災、感電の原因になることがあります。
◎ 振動が多い場所、くらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。	◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）を絶対に使用しないでください。ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
◎ 下記の事項を守らないと、故障の原因になることがあります。 <ul style="list-style-type: none">● 屋外に設置しないでください。● 強い磁界や静電気の発生する場所、取扱説明書に記載の使用環境を超えるところでは使用しないでください。● 説明と異なる接続をしないでください。また、本製品への接続を間違えないように十分注意してください。	◎ 電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本書では、本製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を説明しています。

また、本製品の初期化操作など、保守についても説明しています。

お読みになったあとは、いつでも読める場所に保管してください。

免責事項について

地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ ACアダプターについて(付属品)

△ 警告	下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
◎ 下記の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因になります。 <ul style="list-style-type: none">● 本製品以外の機器に使用しないでください。● AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。● 必ずDCコネクタやACアダプター本体を持って抜き差ししてください。● 水などでぬれやすい場所で使用しないでください。● 電源ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。● 電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。	◎ ACアダプターの金属部分、およびその周辺にホコリが付着している場合は、乾いた布でよくふき取ってください。そのまま使うと、火災の原因になります。
◎ ぬれた手でACアダプターに絶対に触れないでください。感電の原因になります。	◎ ACアダプターは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合、火災、感電の原因になります。
	◎ 風通しの悪い場所で使用したり、タコ足配線やACアダプター同士を密着させたりして使用しないでください。
	◎ コンセントの差し込みがゆるかったり、電源ケーブルが傷ついたりしたときは、使用しないでください。火災、感電、故障、データの消失、破損の原因になりますので、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

取り扱い上のご注意

- ◎ 本製品は、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的とした製品ではありません。本製品が原因で発生したいかなる損害についても弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ パソコンやその他の周辺機器の取扱いは、それぞれに付属する取扱説明書に記載する内容にしたがってください。
- ◎ 次に示す内容をよくお読みになってから、本製品の設定ファイルや弊社ホームページ <http://www.icom.co.jp/> より提供されるアップデータ用ファームウェアファイルをご使用ください。本製品以外の機器への書き込み、改変による障害、および書き込みに伴う本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、または停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 本製品が原因で発生した債務不履行、または不法行為に基づく損害賠償の責任は、当社に故意、または過失のある場合を除いて、本製品の購入代金と同等金額を上限といたします。
- ◎ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修理、または瑕疵のない同一製品、もしくは同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責任は一切負いません。

■ 有寿命部品について

本製品に付属のACアダプターは、有寿命部品です。ACアダプター交換の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、使用時の周囲温度が25℃で約5年です。

■ 情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

■ ユーザー登録について

本製品のユーザー登録は、アイコムホームページでお受けしています。インターネットから、<http://www.icom.co.jp/> にアクセスしていただき、ユーザー登録用フォーム(サポート情報→ユーザー登録)にしたがって必要事項を入力ください。

アフターサービスについて

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品とパソコンの設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● 保証書について

保証書は販売店で所定事項（お買い上げ日、販売店名）を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

● 弊社製品の技術的なお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社 サポートセンター

0120-156-313（フリーダイヤル）

◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、

06-6792-4949（通話料がかかります）

受付（平日 9:00～17:00）

電子メール：support_center@icom.co.jp

アイコムホームページ：<http://www.icom.co.jp/>

無線LAN製品をご使用いただくときのご注意

■無線LANの電波法についてのご注意

- ◎ 5.2/5.3GHz帯無線LANの使用は、電波法により、屋内に限定されています。
- ◎ 本製品を使用できるのは、日本国内に限られています。本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造しています。したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊すおそれがあります。また、その国の法令に抵触する場合がありますので、使用しないでください。
- ◎ 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本製品を使用しないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害を与え、生命に危険をおよぼすおそれがあります。
- ◎ 医療機器の近くで本製品を使用しないでください。医療機器に電磁妨害を与え、生命に危険をおよぼすおそれがあります。
- ◎ 電子レンジの近くで本製品を使用しないでください。電子レンジを使用すると電磁波の影響により、本製品の無線通信が妨害されるおそれがあります。
- ◎ 本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。分解や改造をしないでください。

■無線LANの設置場所について

次の設置条件を考慮しないと、通信範囲や速度に影響します。

- ◎ 無線LAN端末と本製品の距離が近すぎると、データ通信でエラーが発生する場合があります。その場合は、無線LAN端末と本製品の距離を1m以上はなしてください。
- ◎ 屋内で、なるべく見通しのよい(高い)場所に設置してください。
- ◎ 振動や傾きがなく、落下の危険がない安定した場所に設置してください。
- ◎ 本製品の上にものを置いたり、本製品同士やほかの製品と重ねて置いたりしないでください。
- ◎ 通信範囲はオープンスペースで最も広くなりますが、倉庫の中のように大きな金属製の壁などがあると、電波を反射することがあります。電波は壁やガラスをある程度通過しますが、金属は通過しません。コンクリートの壁でも、金属補強材が埋め込まれているため、電波を遮断するものがあります。ガラスの場合も、「熱線吸収ガラス」や「熱線反射ガラス」など、電波を遮断するものがあります。
- ◎ 床にはふつう、鋼製の梁が入っており、金属製防火材が埋め込まれていることがあります。そのため多くの場合、異なる階に設置した無線LANとは通信できません。
- ◎ 無線通信距離は、設置場所や通信周波数によって異なります。以下の表は目安としてご使用ください。

周波数帯	無線LAN規格	屋内見通し	オープンスペース*
5.2GHz	IEEE802.11ac(W52/W53/W56)	約30m	約100m
5.3GHz	IEEE802.11n(W52/W53/W56)		
5.6GHz	IEEE802.11a(W52/W53/W56)		
2.4GHz	IEEE802.11n	約30m	約100m
	IEEE802.11g		
	IEEE802.11b		

※本書では、弊社製SE-90Mと通信した場合の距離を参考として記載しています。

★5.2/5.3GHz帯無線LANの使用は、電波法により、屋内に限定されます。

■2.4GHz無線LANの電波干渉についてのご注意

2.4GHz帯の無線LANで通信するときは、次のことがらに注意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

- ◎ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
- ◎ 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記のサポートセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。
- ◎ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社 サポートセンター

0120-156-313 (フリーダイヤル)

◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、06-6792-4949 (通話料がかかります)

受付 (平日 9:00~17:00)

■表記の意味について

「2.4」 : 2.4GHz帯を使用する無線設備

「DS/OF」 : DS-SS方式/OFDM方式

「4」 : 想定干渉距離が40m以下

「---」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避可能

2.4DS/OF4

■40/80MHz帯域幅通信をするときの手引き

◎ 無線LAN通信で40MHz、または80MHz帯域幅をご使用になる場合、周囲の電波環境を事前に確認して、ほかの無線局に電波干渉を与えないようにしてください。

◎ 万一、本製品から、ほかの無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、[帯域幅]欄を「20MHz」(出荷時の設定)でご使用ください。

※ 帯域幅について詳しくは、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

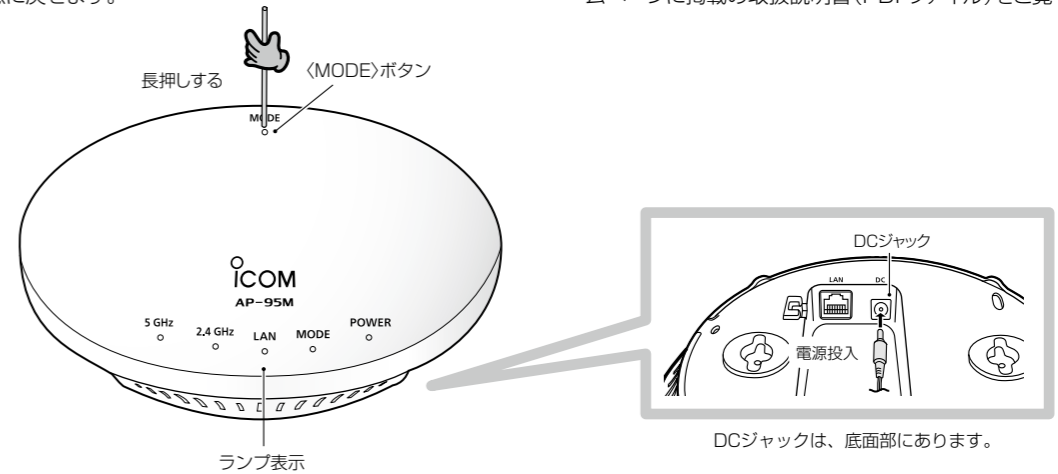
■セキュリティについてのお知らせ

無線LAN製品をご使用になるときは、下記のURLにアクセスしていただき、「無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意」をご覧ください。

アドレス : http://www.icom.co.jp/network_security/

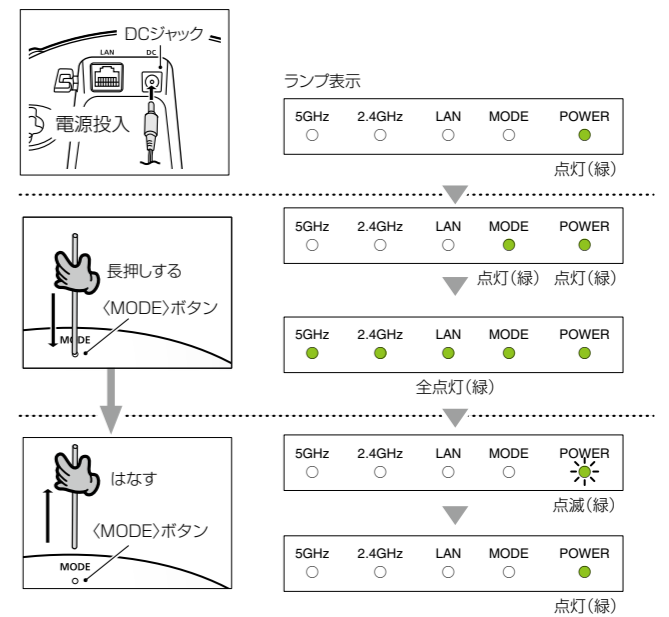
本製品を出荷時の状態に戻すときは

本製品に設定されたIPアドレスが不明な場合など、設定画面にアクセスできないときは、〈MODE〉ボタン操作で、本製品のすべての設定内容を出荷時の状態に戻せます。



DCジャックは、底面部にあります。

- 1 本製品からすべての機器を取りはずして、電源を入れる
[POWER]ランプの点灯を確認してから、手順2の操作を開始してください。
※ご使用の環境により、[POWER]ランプ以外の状態は異なります。
- 2 すべてのランプが点灯(緑)するまで、〈MODE〉ボタンを押す
〈MODE〉ボタンを押すと、[MODE]ランプが点灯します。そのまま押しつづけると、すべてのランプが点灯します。
- 3 すべてのランプが点灯(緑)したことを確認して、〈MODE〉ボタンから手をはなす
※[POWER]ランプが点灯(緑)すると、初期化完了です。



本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。その他、本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。